

ノーベル賞特集①

ノーベル賞でどんな賞なの？

3年連続して日本人のノーベル賞受賞者が出ました。ノーベル賞は、ダイナマイトの発明者として知られるスウェーデンの化学者・実業家であるアルフレッド・ノーベルの遺言に基づき1901年から始まった世界的な賞であり、「人類のために最大たる貢献をした人々」に授与されます。当初は「物理学賞」「化学賞」「生理学・医学賞」「文学賞」「平和賞」の5部門でしたが、1969年から一般的に「経済学賞」といわれている「アルフレッド・ノーベル記念経済学スウェーデン国立銀行賞」が加わり、現在は6部門となっています。授賞式は、ノーベルの命日である12月10日に行われます。「平和賞」を除く5部門はスウェーデンのストックホルムのコンサートホールで、「平和賞」はノルウェーのオスロの市庁舎で行われます。受賞者には、賞状と金のメダルの他、賞金の小切手（金額は2012年より800万スウェーデン・クローナ[日本円で約1億円]）が贈られます。なお、共同研究などで複数名受賞の場合には、賞金は分割されるそうです。ノーベル賞に関する様々なデータを見てみましょう。ネットの記事などから編集していますので、正確ではない部分も含まれると思いますが、御了承ください。人数は2015年の受賞者までの統計です。

ノーベル賞の部門別の受賞者数は？

◎物理学賞：201人（うち女性は2人）
 ◎化学賞：172人（うち女性は4人）
 ◎生理学・医学賞：210人（うち女性12人）
 ◎文学賞：112人（うち女性14人）
 ◎平和賞：101人（うち女性16人）と26組織
 ◎経済学賞：76人（うち女性1人）

※受賞者総数は872人と26組織です。うち女性は49人です。

ノーベル賞の女性の受賞者数は？

女性の受賞者は48人です。そのうち、マリ・キュリーが物理学賞（1903）と化学賞（1911）を受賞しているため、延べ人数は49人となります。残念ながら、日本人女性はいません。

ノーベル賞の複数回受賞者は？

下記の4人が2度受賞しています。
 ◎マリ・キュリー：物理学賞（1903）と化学賞（1911）
 ◎ジョン・バーディーン：物理学賞（1956と1972）
 ◎フレデリック・サンガー：化学賞（1958と1980）
 ◎ライナス・ポーリング：化学賞（1954）と平和賞（1962）

ノーベル賞の夫婦での共同受賞は？

下記の4組の夫婦が共同受賞しています。
 ◎ピエール・キュリーとマリ・キュリー
 ◎フレデリック・ジョリオ＝キュリーとイレーヌ・ジョリオ＝キュリー
 ◎カール・コリとゲルティエ・コリ
 ◎マイブリット・モーセルとエドバルド・モーセル

※イレーヌ・ジョリオ＝キュリーはピエール・キュリーとマリ・キュリーの娘で、フレデリック・ジョリオ＝キュリーはその娘婿です。

ノーベル賞の親子での共同受賞は？

下の1組の父子が共同受賞しています。
 ◎ヘンリー・ブラッグとローレンス・ブラッグ

ノーベル賞の各部門での最年少受賞者は？

◎物理学賞：ローレンス・ブラッグ<25歳>（1915）
 ◎化学賞：フレデリック・ジョリオ＝キュリー<35歳>（1935）
 ◎生理学・医学賞：フレデリック・バンティング<32歳>（1923）
 ◎文学賞：ラドヤード・キップリング<42歳>（1907）
 ◎平和賞：マララ・ユスフザイ<17歳>（2014）
 ◎経済学賞：ケネス・アロー<51歳>（1972）
 ※平和賞のマララ・ユスフザイさんの17歳は驚きです。

ノーベル賞の年長受賞者は？

◎レオニード・ハーヴィッツ<90歳>：経済学賞（2007）
 ◎レイモンド・デービス<88歳>：物理学賞（2002）
 ◎ドリス・レッシング<88歳>：文学賞（2007）
 ◎ペイトン・ラウス<87歳>：生理学・医学賞（1966）
 ◎カール・フォン・フリッシュ<87歳>：生理学・医学賞（1973）
 ◎ジョセフ・ロートブラット<87歳>：平和賞（1995）
 ◎南部陽一郎<87歳>：物理学賞（2008）<アメリカ国籍>
 ※ノーベル賞の受賞の条件として、10月の各賞受賞者発表時点で生存していることが必要です。

ノーベル賞の辞退者は？

下記の2人が辞退し、賞を受け取っていません。
 ◎ジャン＝ポール・サルトル：文学賞辞退（1964）
 ◎レ・ドック・ト：平和賞辞退（1973）



ノーベル賞の国別の受賞者数は？

ノーベルの遺言には「私の特に明示する希望は賞を授与するにあたって候補者の国籍は考慮せず、スカンジナビア人であろうとならうと最もふさわしい人物が賞を受け取るものとする」とあり、その一文があり、ノーベル財団公式サイトには国籍別のリストはないそうです。ネットに、ノーベル財団公式サイトに発表された2015年までの受賞者を国別に分類したものがありまして、そのデータを使って集計しました。多重国籍者は複数の国に示されています。消滅した国の受賞者は継承国に加算してあります（たとえば、ソ連はロシアに加算）。複数回受賞者は受賞ごとにカウントしました。その結果、20名以上の受賞者がいる国は次の8つでした。受賞者数の多い順に、部門別の受賞者数、2000年以降の受賞者数、うち自然科学（物理学、化学、生理学・医学）部門の受賞者数などを示します。

【第1位】アメリカ合衆国：349人（うち女性14人）

物理学賞	化学賞	生理学・医学賞	文学賞	平和賞
91①	72	99⑦	11②	21③
経済学賞	2000年以降	うち自然科学部門		
55①	99④	68③		

【第2位】イギリス：115人（うち女性4人）

物理学賞	化学賞	生理学・医学賞	文学賞	平和賞
23	28①	31	11①	12②
経済学賞	2000年以降	うち自然科学部門		
10	20①	14		

【第3位】ドイツ：82人（うち女性2人）

物理学賞	化学賞	生理学・医学賞	文学賞	平和賞
24	29	16①	8①	4
経済学賞	2000年以降	うち自然科学部門		
1	8①	7		

【第4位】フランス：58人（うち女性4人）

物理学賞	化学賞	生理学・医学賞	文学賞	平和賞
13①	8②	11①	15	9
経済学賞	2000年以降	うち自然科学部門		
2	10①	6①		

【第5位】スウェーデン：32人（うち女性3人）

物理学賞	化学賞	生理学・医学賞	文学賞	平和賞
4	5	8	8②	5①
経済学賞	2000年以降	うち自然科学部門		
2	3	2		

【第6位】日本：22人（うち女性0人）

物理学賞	化学賞	生理学・医学賞	文学賞	平和賞
9	7	3	2	1
経済学賞	2000年以降	うち自然科学部門		
0	14	14		

【第6位】スイス：22人（うち女性0人）

物理学賞	化学賞	生理学・医学賞	文学賞	平和賞
4	6	7	2	3
経済学賞	2000年以降	うち自然科学部門		
0	1	1		

【第8位】ロシア：20人（うち女性0人）

物理学賞	化学賞	生理学・医学賞	文学賞	平和賞
11	1	2	3	2
経済学賞	2000年以降	うち自然科学部門		
1	4	4		

※丸囲み数字は女性の受賞者の数で内数です。